

令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	5	学校名	高円芸術高等学校
----	---	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 重度心身障害者施設 訪問演奏 (2) 演奏会の開催
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 音楽科の実習授業として実施。インクルーシブ社会について理解を深める。 (2) 音楽科の実習授業として実施。演奏会の企画・運営力の育成と奈良県の芸術振興を牽引する自覚の醸成。
連携・協働相手	(1) 重度心身障害者施設「バルツァゴードル」 (2) 県内小学校・中学校・高等学校、奈良県
地域と共有している目標・課題等	(1) インクルーシブ社会についての理解。地域社会を担う存在である自覚の醸成。 (2) 奈良県唯一の芸術拠点校としての文化芸術活動の振興
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>(1) 音楽科の生徒が、「バルツァゴードル」を訪問してコンサートを開催した。事前に代表生徒・教員等と施設職員が打ち合わせ行い、選曲、演出、留意事項などについて検討を重ね、当日に利用者との交流を行ったことで、重度心身障害者や施設などについて生徒の理解が深まった。</p> <p>(2) 「奈良県みんなでのしむ大芸術祭」の一環である音楽科生徒による定期演奏会や、県内中学校・高等学校との合同演奏会の開催、鼓阪北小学校への訪問演奏などを行った。演奏会の開催にあたって、生徒たちが主体となって役割分担をし、広報活動に取り組むとともに、選曲・演出・当日の受付等を担った。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>(1) 施設の方々を身近に感じながら生徒自身の専門性を活かした演奏ができる、大変有意義な機会となった。また、熱心に演奏を聴いてくださった施設の方々との交流によって、重度心身障害者や施設に対する理解を深めることができた。徒歩での訪問が可能であるという立地を活かし、交流の機会を広げていきたい。</p> <p>(2) 音楽科生徒が日頃の専門的な技術や表現力を発揮して演奏会を行ったり、スタインウェイピアノ試弾会では近隣の方々や子どもたちのピアノ演奏をサポートしたりすることで、生徒たちの自信にもつながった。今後も奈良県の芸術拠点校としての芸術振興事業を模索していきたい。</p>
--

